



福知山線安全研修開催！



2月24日～25日、水戸地本は福知山線安全研修を開催し、JR西労幸書記長から事故現場の状況説明や問題提起を受け、意見交換を行ってきました。

JR西日本福知山線脱線事故は2005年4月25日に発生し、107名の方が亡くなり、多くの方がお怪我をされました。私たちは二度と同様の事故を起こしてはならないとの誓いを胸に、献花と黙祷を行いました。

その後、事故現場に設立された『祈りの杜』の施設にある展示室を見学し、当時の事故状況を学んできました。

全体討論では、JR西労幸書記長より、当時の事故状況や職場から懲罰的な日勤教育を許さないたたかい等の問題提起を受け議論を深めてきました。

参加者から、「祈りの杜には事故の背後要因である懲罰的な日勤教育について何ら展示がされていない」「ATS-Pが設置されていれば、この事故は防げたのではないか」等の感想が述べられました。また、幸書記長の問題提起を受けて、「職場での諸問題に対し、組合員が集まり議論することで、問題点の確定と解決に向けた議論をすることの重要性」を学ぶことができました。

そして、事故当時JR西日本は、経営方針の第一に「稼ぐ」を据え、安全よりも営利優先の経営姿勢であった否定的な現実を掴み取りました。

私たちは、JR福知山線脱線事故をもたらした「懲罰的な日勤教育、営利優先、人権無視、安全軽視の経営姿勢」を許さずたたかい続けたJR西労から学んできました。また、「不安全な企業体質を一新するためのJR西労のたたかい」の教訓から「責任追及から原因究明」の「安全哲学」を根底に据えて、日々発生する事故・事象に対して、安全第一の取り組みをつくり出すために、取り組みを強化していきます。

安全・健康・ゆと리를守るため、 JR東労組に結集しよう！